

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年8月18日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格情報			8月の価格情報		生育及び価格の8月の見通し		
	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額			
		中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	64	62	74.19	68	・入荷見込量：15,330t(100) ・主産地：群馬(78)、岩手(14)、北海道(3)	・群馬産は、台風の影響で収穫の一時遅れがあるものの、今回の降雨で干ばつ傾向と小玉傾向の解消に伴い平年並みの出荷の見込み。岩手産は、台風で一部ほ場の冠水や収穫の遅れなどを除き大きな影響は見られず、天候の回復により収穫が進むことから平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産及び岩手産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		88.91	63	67	88.91	75	・入荷見込量：4,40t(102) ・主産地：群馬(78)、長野(21)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	273.33	304	261	273.33	221	・入荷見込数量：4,190t(100) ・主産地：茨城(38)、青森(22)、北海道(9)、秋田(8)、輸入(6)、千葉(3)	・青森産は、最近の降雨により、ほ場での収穫が少し遅れ気味であるものの、目立った病害もなく生育は順調なことから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、台風による大きな影響もなく、生育は概ね順調であることから平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		487.13	238	277	487.13	314	・入荷見込数量：200t(100) ・主産地：香川(25)、徳島(22)、三重(14)、奈良(14)、大阪(9)	
	はくさい 	58.82	57	59	78.06	83	・入荷見込量：5,820t(100) ・主産地：長野(92)	・長野産は、品種の切り替わりとこれまでの天候不順による影響で現在小玉傾向で少なめの出荷となっているが、台風の影響もなく、今後は回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・長野産の出荷は8月下旬は平年並みの出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。
		62.79	57	54	88.72	85	・入荷見込量：2,800t(104) ・主産地：長野(100)	
	ほうれんそう 	583.95	605	639	583.95	632	・入荷見込量：800t(101) ・主産地：栃木(28)、群馬(27)、茨城(18)、岩手(11)	・群馬産は、台風による被害はほとんどみられないが、作付面積の減少や暑さによる生育の停滞から、平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、台風の影響はほぼ見られず、生育は概ね順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は台風の影響はなく、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産はやや少なめの出荷が見込まれるものの、栃木産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		670.86	614	659	670.86	647	・入荷見込量：370t(92) ・主産地：岐阜(86)、北海道(11)	
	レタス (結球) 	120.13	112	133	158.27	138	・入荷見込量：9,660t(95) ・主産地：長野(87)、群馬(11)	・長野産は、これまで小玉傾向により少なめであったが、作柄が回復したことから今後は平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。群馬産は、台風の影響はほぼ見られないものの、引き続き少なめの出荷の見込み。 ・長野産の出荷が平年並み若しくはやや多めと見込まれることから、価格は平年並み若しくは引き続き平年を下回って推移する見込み。
		125.61	109	140	152.57	149	・入荷見込量：2,100t(97) ・主産地：長野(99)	
たまねぎ 	84.85	109	117	84.85	124	・入荷見込量：9,800t(100) ・主産地：北海道(35)、兵庫(30)、佐賀(20)、輸入(6)	・北海道産は、現時点では台風の影響は見られないものの、7月の干ばつが影響し玉肥大が進まず、産地により生育のばらつきが見られる。益明けから本格的な出荷となり市場向けの出荷は概ね平年並みの出荷を見込む。兵庫産は、貯蔵品の出荷であるが、在庫状況を踏まえ、今後は平年より多めの出荷の見込み。佐賀産も現在は貯蔵品の出荷であり、前倒し出荷により平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産、兵庫産及び佐賀産の市場向け出荷が平年並みと見込まれるが、北海道産の作柄見込みにやや懸念もあることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づきものの平年をやや上回って推移する見込み。	
	84.85	111	113	84.85	125	・入荷見込量：3,200t(93) ・主産地：兵庫(85)、北海道(8)		
果 菜	きゅうり 	210.69	204	186	210.69	180	・入荷見込量：8,010t(100) ・主産地：福島(40)、岩手(22)、秋田(15)、宮城(5)	・福島産は、台風で擦れ果が少し発生したものの、全体的には大きな影響はなく生育は概ね順調で平年並みの出荷の見込み。岩手産は、成り疲れと最近の低温により、やや少なめの出荷となっているが、台風の影響もなく生育は順調で平年並みの出荷の見込み。秋田産は、最近の天候不順により出荷量は少なめであるが、生育は順調であることから、平年並みの出荷の見込み。 ・福島産、岩手産及び秋田産が平年並みの出荷が見込まれることから、台風等の影響で一時的に上昇した価格は、平年並みに近づき見込み。
		221.71	195	182	221.71	185	・入荷見込量：2,200t(106) ・主産地：福島(37)、北海道(27)、愛媛(23)	
	トマト (大玉) 	229.51	270	248	229.51	212	・入荷見込量：10,270t(100) ・主産地：青森(24)、北海道(19)、福島(17)、群馬(11)、岩手(7)、千葉(7)	・青森産は、一部のほ場で豪雨によりハウス内が浸水し、収穫の遅れはあるが台風の影響はなく、生育は順調なことから引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、天候に恵まれ生育は順調で前倒し出荷となっていることから、今後は平年並み若しくは平年よりやや少なめの出荷の見込み。福島産は、台風による影響はないが、7月下旬の高温により一部で花落ちが見られたことから、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・青森産は平年並みの出荷が見込まれるものの、北海道産及び福島産が平年をやや下回る出荷が見込まれることから、現在平年を下回っている価格は平年並みに近づき見込み。
		271.33	288	264	271.33	234	・入荷見込量：2,700t(98) ・主産地：北海道(38)、岐阜(34)、岡山(12)	
	なす 	209.55	332	255	209.55	216	・入荷見込量：5,570t(105) ・主産地：栃木(29)、群馬(28)、茨城(26)、埼玉(7)	・栃木産は、7月は平年より少なめの出荷であったが、現在作柄は回復していることから平年並みの出荷の見込み。群馬産は、2月の豪雪の影響があり、露地物の作付が増加していることから平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。茨城産は、台風による影響はなく、病害の発生もないことから生育は順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・栃木産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		221.72	260	246	221.72	259	・入荷見込量：1,280t(105) ・主産地：山梨(24)、徳島(20)、大阪(11)、京都(10)、奈良(8)、愛媛(6)	
	ピーマン 	251.50	300	253	263.58	277	・入荷見込量：2,050t(100) ・主産地：岩手(42)、茨城(21)、福島(18)、青森(13)	・岩手産は、成り疲れと最近の低温によりやや少なめの出荷となっているが、今後は出荷の増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、春物の作型の出荷は終了し、秋物の作型の生育は順調であることから平年並みの出荷の見込み。なお、これら産地では現時点では台風の影響は見られない。 ・岩手産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
266.65		270	225	282.16	232	・入荷見込量：540t(100) ・主産地：青森(21)、兵庫(18)、北海道(12)、福島(12)、愛媛(10)、大分(9)		
根 菜	だいこん 	94.60	73	70	94.60	73	・入荷見込量：9,340t(100) ・主産地：北海道(73)、青森(21)、岩手(4)	・北海道産は、秋作の播種期の天候にも恵まれ、生育も順調で平年よりやや多めの出荷の見込み。青森産は、8月上旬の局地的な豪雨に伴い、品質の低下やバラツキが一部で見られるが、全体的には生育は概ね順調で台風による影響もないことから平年並みの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回る見込み。
		100.39	76	72	100.39	75	・入荷見込量：2,800t(88) ・主産地：北海道(78)、岐阜(11)、青森(9)	
	にんじん 	133.01	102	106	123.08	116	・入荷見込量：6,580t(105) ・主産地：北海道(81)、青森(16)、輸入(2)	・北海道産は道南地区からの出荷はほぼ終了し、後続の産地は小ぶりの出荷となっているものの、生育は順調であることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。青森産は、春夏ものの作型の出荷はほぼ終了し、後続の秋作は9月上旬ごろから出荷となる見込み。 ・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
132.62		105	106	123.11	113	・入荷見込量：2,300t(104) ・主産地：北海道(91)、青森(8)		

種類	7月の価格情報				8月の価格情報		生育及び価格の8月の見通し
	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		
		中旬	下旬			上旬	
いも	さといも	344.00	355	309	242.66	320	・入荷見込量：422t (-) ・主産地：千葉(50)、宮崎(36)、鹿児島(5)、輸入(5)
		347.90	408	273	220.11	318	
	ばれいしょ	101.61	131	129	101.61	123	・入荷見込量：5,670t (103) ・主産地：北海道(71)、茨城(12)、青森(9)、千葉(5)
		101.61	129	129	101.61	118	

注：1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の小売価格(東京都区部)							
	過去5か年平均		平成25年		平成26年		キャベツ		レタス		レタス			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106	198	267	135	673	684	102
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105	211	234	111	605	578	95
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861	105	200	200	100	498	459	92
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887	104	248	206	83	469	381	81
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5,146	98	1,993	107	169	175	104	371	351	95
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	4,971	95	1,963	103	137	147	108	317	321	101
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0		0	153	173	113	322	338	105
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0		0	140		0	415		0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0		0	149		0	506		0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0		0	158		0	449		0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0		0	162		0	421		0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0		0	162		0	521		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
資料：総務省「小売物価統計調査報告」注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
2 平成26年7月の値は、7月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量 (単位：トン、%)				主な野菜の輸入数量 (単位：トン、%)			
	平成24年		平成25年		平成26年1～6月		平成26年6月	
	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比				
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	517,491	118	71,648	122
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	928,972	102	158,718	111
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	1,446,463	107	230,366	114
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	713,989	108	118,803	114
中国産シェア	51		52		49		52	

品目	輸入先	平成25年7月(A)		平成26年7月(B)		(B)/(A)
		数量	寄与度	数量	寄与度	
たまねぎ	合計	23,022	135	31,097	135	135
	中国	21,731	134	29,033	134	134
	ニュージーランド	573	278	1,593	278	278
にんじん	合計	7,534	87	6,525	87	87
	中国	7,174	88	6,326	88	88
	ニュージーランド	284	54	154	54	54
ねぎ	合計	5,138	107	5,485	107	107
	中国	5,136	107	5,482	107	107

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」
資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年7月は、速報値。

4 トピック — 野菜の輸入動向(4月～6月)について —

平成26年4～6月の野菜全体の輸入量は、国産の出回りが概ね順調で輸入量が減少した前年に比べ5.4%増の72.9万トンと、前期同様に2年ぶりに増加した。類別では、生鮮野菜が同16.5%増の24.3万トン、冷凍野菜が同4.3%増の24.9万トンとなり、酢調整野菜、トマト加工品は減少した。生鮮野菜の内訳(品目別寄与度)を見ると、府県産の減産の一方、昨年の不作で高騰した中国産の輸入価格が豊作で下落したたまねぎが+15.6%増となり、増加の主要因となった。同様に冷凍野菜の内訳を見ると、昨年は輸入量が減少したばれいしょが、ファーストフード需要の堅調から+4.0%となった。一方、輸入量の約5割を占めた中国産は、前年比5.8%増の35.8万トンとなり、類別では、生鮮野菜が同25.9%増、冷凍野菜が同1.0%増となった。同様に生鮮野菜の品目別寄与度を見ると、たまねぎが+24.9%増となり、天候不順により青森県産が減産したごぼうが+1.3%増となった。たまねぎの輸入水準は、国産の豊凶変動に大きく左右されるが、加工・業務用向けでは中国産剥きたまねぎのニーズが堅調であることも、最近の高水準のたまねぎ輸入の背景にあるとみられる。

野菜の輸入動向(類別、4月～6月)

資料：財務省「貿易統計」

野菜輸入の増加率の品目別寄与度(4月～6月)

品目	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度
生鮮野菜	26,020	12.9	34,588	15.2	-53,196	-20.3	34,361	16.5
たまねぎ	7,435	3.7	10,035	4.4	-28,855	-11.0	32,571	15.6
ごぼう	1,693	0.8	1,622	0.7	-2,861	-1.1	2,993	1.4
ばれいしょ	1,078	0.5	3,278	1.4	-1,251	-0.5	2,930	1.4
結球キャベツ	66	0.0	4,071	1.8	-4,958	-1.9	1,475	0.7
その他	15,748	7.9	15,582	6.9	-15,271	-5.8	-5,608	-2.6
冷凍野菜	14,866	6.8	9,904	4.3	-3,077	-1.3	10,221	4.3
ばれいしょ	4,306	2.0	2,371	1.0	-5,856	-2.4	9,679	4.0
いちご	918	0.4	114	0.0	365	0.2	2,329	1.0
その他の冷凍野菜	4,841	2.2	6,124	2.6	2,386	1.0	2,446	1.0
ブロッコリー	919	0.4	1,576	0.7	-908	-0.4	1,672	0.7
ほうれんそう等	2,697	1.2	-1,768	-0.8	221	0.1	392	0.2
その他	1,185	0.6	1,487	0.8	715	0.2	-6,297	-2.6

資料：財務省「貿易統計」

中国産野菜の輸入動向(類別、4月～6月)

資料：財務省「貿易統計」

中国産野菜の輸入増加率の品目別寄与度(4月～6月)

品目	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度	増減数量	寄与度
生鮮野菜	16,338	15.6	16,793	13.9	-29,086	-21.1	28,205	25.9
たまねぎ	7,346	7.0	5,859	4.8	-16,486	-12.0	27,032	24.9
ごぼう	-1,223	-1.2	4,131	3.4	-1,811	-1.3	1,361	1.3
ねぎ	1,223	1.2	79	0.1	-305	-0.2	796	0.7
にんにく	-173	-0.2	788	0.7	-579	-0.4	314	0.3
結球キャベツ	574	0.6	3,886	3.2	-4,313	-3.1	235	0.2
その他	9,165	8.7	5,936	4.9	-9,905	-7.2	-1,298	-1.2
冷凍野菜	7,073	8.2	1,796	1.9	5,533	5.8	981	1.0
その他の冷凍野菜	3,713	4.3	3,703	4.0	2,142	2.3	2,717	2.7
ほうれんそう等	2,178	2.5	-1,042	-1.1	142	0.2	739	0.7
ブロッコリー	318	0.4	719	0.8	397	0.4	274	0.3
いちご	202	0.2	-354	-0.4	-204	-0.2	252	0.3
スイートコーン	-41	-0.1	-1	0.0	-169	-0.2	191	0.2
その他	703	0.8	-1,229	-1.3	3,225	3.4	-3,192	-3.2

資料：財務省「貿易統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、齋藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。